



セカンド・パーティ・オピニオン

SECOND PARTY OPINION

キリンホールディングス株式会社
グリーンボンド 定期レビュー(第4回)

Prepared by: DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

Location: 神戸, 日本

Date: 2024年6月28日

Ref. Nr.: PRJN-539237-2024-PR-JPN-01

目次

I. スコープと目的	3
II. プロジェクト概要	4
III. キリンホールディングスの責任と DNV の責任	4
IV. DNV 意見の基礎	5
V. 評価作業	6
VI. 観察結果と DNV の意見	7
スケジュール-1 対象プロジェクト概要	10
スケジュール-2 グリーンボンド適格性評価手順	11

発行履歴	内容
2020 年 11 月 6 日	キリンホールディングス株式会社グリーンボンドフレームワーク セカンドパーティ・オピニオン
2021 年 6 月 28 日	グリーンボンド定期レビュー
2022 年 6 月 28 日	グリーンボンド定期レビュー(2 回目)
2023 年 6 月 23 日	グリーンボンド定期レビュー(3 回目)
2024 年 6 月 28 日 (今回報告書)	グリーンボンド定期レビュー(4 回目) 資金充当状況：調達資金 100 億円について全額充当完了 環境改善効果：リサイクル PET 樹脂比率：28% ヒートポンプシステム導入による GHG 削減量：4,185t-CO2(2023 年度)

Disclaimer

Our assessment relies on the premise that the data and information provided by Issuer to us as part of our review procedures have been provided in good faith. Because of the selected nature (sampling) and other inherent limitation of both procedures and systems of internal control, there remains the unavoidable risk that errors or irregularities, possibly significant, may not have been detected. Limited depth of evidence gathering including inquiry and analytical procedures and limited sampling at lower levels in the organization were applied as per scope of work. DNV expressly disclaims any liability or co-responsibility for any decision a person or an entity may make based on this Statement.

Statement of Competence and Independence

DNV applies its own management standards and compliance policies for quality control, in accordance with ISO/IEC 17021:2011 - Conformity Assessment Requirements for bodies providing audit and certification of management systems, and accordingly maintains a comprehensive system of quality control, including documented policies and procedures regarding compliance with ethical requirements, professional standards and applicable legal and regulatory requirements. We have complied with the DNV Code of Conduct¹ during the assessment and maintain independence where required by relevant ethical requirements. This engagement work was carried out by an independent team of sustainability assurance professionals. DNV was not involved in the preparation of statements or data included in the Framework except for this Statement. DNV maintains complete impartiality toward stakeholders interviewed during the assessment process.

¹ DNV Code of Conduct is available from DNV website (www.DNV.com)

I. スコープと目的

麒麟ホールディングス株式会社(以下、麒麟ホールディングス)は、DNV に 2020 年 11 月 20 日に発行した「グリーンボンド」の債券発行後定期レビューの実施を委託しています。DNV における債券発行後定期レビューの目的は、麒麟ホールディングスが、後述する基準であるグリーンボンド原則(以下、GBP)及びグリーンボンドガイドライン(以下、GBGL)に合致していることを確認するための評価を実施し、このグリーンボンドの適格性についてセカンド・パーティ・オピニオンを提供することです。

麒麟ホールディングスは 2020 年 11 月 20 日にグリーンボンドの債券を発行しました。この債券の発行額は 100 億円、償還期間は 5 年です。DNV は、GBP 及び GBGL に基き、定期レビュー(第 4 回)を実施しました。

DNV は独立した外部レビュー機関としてセカンド・パーティ・オピニオンの提供に際し、麒麟ホールディングスとは事実及び認識においていかなる利害関係も持たないことを宣言します。

また、この報告書では、グリーンボンドの財務的なパフォーマンス、いかなる投資の価値、あるいは長期の環境便益に関する保証も提供されません。

適用又は参照される基準

No.	基準もしくはガイドライン	発行者	適用レベル* ¹
1.	グリーンボンド原則	国際資本市場協会、2018	適用
2.	グリーンボンドガイドライン	環境省、2020	適用

*¹ 適用：各原則やガイドライン共通の 4 つの核となる要素全てに対する適格性を評価した

II. プロジェクト概要

キリングroupは「CSV パーパス」における重点課題のひとつに「環境」を掲げており、「ポジティブインパクトで、持続可能な地球環境を次世代につなぐ。」としています。

具体的には、地球環境の課題解決に先駆けとなって取り組むべく、2050 年を見据えた長期戦略「キリングroup環境ビジョン 2050」を策定し、その中で環境課題である気候変動の克服に向け、2050 年にバリューチェーン全体の GHG をネットゼロにすることなどを掲げています。また、2019 年に「キリングroup プラスチックポリシー」を策定し、日本国内の PET ボトルにおけるリサイクル樹脂の使用割合を 2027 年までに 50%にすることを宣言しました。

グリーンボンドは、これらの取り組みに必要な資金として調達されたものです。

キリンホールディングスは、適格性が確認された 2 つのプロジェクトに資金充当しています。

適格プロジェクト	グリーン分類	SDGs への貢献
再生 PET 樹脂の調達	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚染防止と管理 ・ 環境配慮製品、環境に配慮した製造技術・プロセス 	目標 9、12、14
工場におけるヒートポンプシステムの導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 省エネルギー 	目標 7、9、13

III. キリンホールディングスの責任と DNV の責任

キリンホールディングスは、DNV がレビューを実施する間に必要な情報やデータを提供しています。DNV のセカンド・パーティ・オピニオンは、独立した意見を表明するものであり、我々に提供された情報を基に、確立された基準が満たされているかどうかについてキリンホールディングス及び充当されたグリーンボンドの利害関係者に情報提供することを意図しています。その業務において我々は、キリンホールディングスから提供された情報、及び事実を根拠にしています。

DNV は、この意見表明の中で参照する選定された資産のいかなる側面に対して責任がなく、また試算、観察結果、意見又は結論が不正確である場合、それに対し責任を問われることはありません。従って DNV は、キリンホールディングスの関係者から提供されたこの評価の基礎として使用された情報やデータの何れかが正確または完全でなかった場合においても、責任を問われません。

IV. DNV 意見の基礎

DNV は、発行体にとってより柔軟なグリーンボンド適格性評価手順(以下、「手順」)を適用するために、GBP 及び GBGL の要求事項を考慮したキリンホールディングスグリーンボンド評価手順を作成しました。スケジュール-2 を参照してください。この手順は GBP 及び GBGL に基づくグリーンボンドに適用可能です。

DNV の手順は、DNV の意見表明の根拠に資する一連の適切な基準を含んでいます。その基準の背景にある包括的な原則は、グリーンボンドが「環境便益を伴う新規又は既存プロジェクトのための資本調達や投資を可能とする」というものです。

DNV の手順に従って、レビュー対象であるこのグリーンボンドに対する基準は、以下の 4 つの要素にグループ分けされます。

- **要素 1：調達資金の使途**：調達資金の使途の基準は、グリーンボンドの発行体は、グリーンボンドにより調達した資金を適格プロジェクトに使わなければならない、という要求事項によって定められています。適格プロジェクトは、明確な環境改善効果を提供するものです。
- **要素 2：プロジェクトの評価及び選定のプロセス**：プロジェクトの評価及び選定の基準は、グリーンボンドの発行体が、グリーンボンド調達資金を使途とする投資の適格性を判断する際に従うプロセスの概要を示さなければならない、また、プロジェクトが目的に対する影響をどのように考慮しているかの概要を示さなければならない、という要求事項によって定められています。
- **要素 3：調達資金の管理**：調達資金の管理の基準は、グリーンボンドが発行体組織によって追跡管理されなければならないこと、また、必要な場合には、区別されたポートフォリオを構築し、未充当資金がどのように扱われるか公表するという観点で作成されなければならないことが、要求事項によって定められています。
- **要素 4：レポーティング**：レポーティングの基準は、債券への投資家に対して、少なくとも、資金の充当状況及び可能な場合には定量的もしくは定性的な適切なパフォーマンス指標を用いたサステナビリティレポートを発行する、という推奨事項によって定められています。

V. 評価作業

DNV の評価作業は、発行体によって誠実に情報提供されたという理解に基づいた、利用可能な情報を用いた包括的なレビューで構成されています。DNV は、提供された情報の正確性をチェックするための監査やその他試験等を実施していません。DNV の意見を形成する評価作業には、以下が含まれます。

i. グリーンボンド発行前アセスメント(*この報告書には含まれません)

- この評価に資する上述及びスケジュール-2 に関し、グリーンボンドへの適用を目的とした発行体特有の評価手順の作成
- この債券に関して発行体より提供された根拠文書の評価、及び包括的なデスクトップ調査による補足的評価。これらのチェックでは、最新のベストプラクティス及び標準方法論を参照
- 発行体との協議及び、関連する文書管理のレビュー
- 基準の各要素に対する観察結果の文書作成

ii. グリーンボンド発行後アセスメント * 今回報告内容

- グリーンボンド発行後に、発行体により提供された根拠書類の評価、包括的なデスクレビューによる補足評価
- 発行体の管理者へのインタビュー及び関連する文書管理のレビュー
- 現地調査および検査(必要な場合)
- 発行後時点での対象プロジェクト及び資産のレビュー(スケジュール-1 に記載された内容の更新)
- 発行後検証での観察結果の文書作成

VI. 観察結果と DNV の意見

DNV の観察結果と意見は以下の通りです。

要素 1：調達資金の用途

DNV は、キリンホールディングスがグリーンボンドにより調達した資金 100 億円全額が GBP 及び GBGL で示される以下の適格プロジェクトに合致したグリーンプロジェクトに充当済みであることを確認しました。

これらのプロジェクトは環境便益を有すると共に、SDGs にも貢献する取組みであることを確認しました。

グリーンプロジェクト	適格プロジェクト	充当額
再生 PET 樹脂の調達・設備投資	再生 PET 樹脂の調達	2020-2022 年度：49 億円 2023 年度：46 億円 合計充当額：95 億円(リファイナンス割合 21.9%)
工場におけるヒートポンプの導入	工場におけるヒートポンプの導入(5 工場)	2020-2022 年度：5 億円 2023 年度：該当なし 合計充当額：5 億円(リファイナンス割合 41.7%)
	合計	2020-2022 年度：54 億円 2023 年度：46 億円 合計充当額：100 億円(全額充当済み)

スケジュール 1 に、これらグリーンプロジェクトの一覧と詳細を示しています。

DNV は上記の選定されたプロジェクト及び資産が適格性を満たしていることをレビューしました。

要素 2：プロジェクトの評価及び選定のプロセス

DNV は、レビューを通じてキリンホールディングスが、「CSV パーパス」、「持続的成長のための経営諸課題(グループ・マテリアリティ・マトリックス)」における重要課題と密接に関連したプロジェクトを、経理部及び CSV 戦略部がフレームワークで定めた適格クライテリアを満たすプロジェクト(適格プロジェクト)として選定し、財務戦略担当執行役員が選定された適格プロジェクトの最終決定を行ったことを確認しました。

DNV は、キリンホールディングスが、当該プロジェクトの選定に当たり「適用又は参照される基準」に示す適格クライテリアに合致すると共に、プロジェクトの実行に伴うネガティブな影響を評価、検討し、環境・社会的リスクを事前に確認していることを確認しました。

要素 3：調達資金の管理

DNV は、キリンホールディングスが債券発行後、この定期レビューの対象期間である 2023 年 1 月から 2023 年 12 月までの調達資金の管理状況について、キリンホールディングスから提供された具体的な記録(文書)に基づき確認しました。すべての調達資金は支出されるまで現金及び現金同等物で管理されています。支出と残高の詳細はキリンホールディングスの内部手順に基づき記録されています。キリンホールディングスは各会計期間(年度)で調達資金の残高を上記管理に基き、レビューしています。

キリンホールディングスは、再生 PET 樹脂の調達に対してグリーンボンドで調達した資金の内、95 億円(リファイナンス割合 21.9%)を充当していました。

さらに、工場におけるヒートポンプ導入に対してグリーンボンドで調達した資金の内、5 億円(リファイナンス割合 41.7%)を充当していました。

DNV は、キリンホールディングスが、上記 2 つのプロジェクトにグリーンボンドで調達した 100 億円の資金全額を充当済みであることを確認しました。

要素 4 : レポーティング

DNV は、GBP 及び GBGL で要求されるグリーンボンド特定の情報に関して、キリンホールディングスのウェブサイトにて年次報告する予定であることを確認しました。

年次報告は、下記に記載する資金充当状況及び環境改善効果を報告する予定です。なお、2023 年度で調達資金の全額について充当が完了しているため、当該グリーンボンドに関しては、今回の年次報告が最終報告になります。

主要な報告項目は以下を予定しています。

<資金充当状況>

- ◆ 充当対象となる適格クライテリア及び充当金額 :
 - 再生 PET 樹脂の調達
2020-2022 年度 : 49 億円、2023 年度 : 46 億円、合計充当額 : 95 億円
 - 工場におけるヒートポンプの導入(5 工場)
2020-2022 年度 : 5 億円、2023 年度 : 該当なし、合計充当額 : 5 億円
- ◆ 未充当金の残高及び運用方法 :
 - 2023 年度で全額充当済み (未充当金 : 0 円)
- ◆ 調達資金のうちリファイナンスに充当された金額 :
 - 再生 PET 樹脂の調達 : 21 億円
 - 工場におけるヒートポンプの導入(5 工場) : 2 億円

<環境改善効果>

- ◆ ヒートポンプシステム導入による GHG 削減量 : 4,185t-CO₂(2023 年度)
算定方法 :
【設備導入による年間の消費都市ガス削減量(Nm³/年)】×【CO₂ 排出係数(t-CO₂/Nm³)】^{*1}
－【設備導入による年間の消費電力増加量(MWh/年)】×【CO₂ 排出係数^{*2}(t-CO₂/MWh)】^{*3}
*1 : 従量の蒸気使用量との比較によって算出される年間の消費都市ガス削減量
*2 : 電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)
*3 : ヒートポンプシステムの導入によって増加する年間の消費電力量
- ◆ リサイクル PET 樹脂調達比率 : 28%
算定方法 :
【リサイクル樹脂使用量】/【ペットボトル用樹脂使用量】

評価結果

DNV は、キリンホールディングスから提供された情報と実施された業務に基づき、キリンホールディングスがグリーンボンド適格性評価手順の要求事項を満たしており、GBP 及び GBGL の「環境への利益を伴う新規プロジェクトもしくは既存プロジェクトへの資本調達及び投資を可能にする」というグリーンボンドの定義・目的と一致していることを意見表明します。

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

2024 年 6 月 28 日



鳥海 淳

テクニカルレビューアー

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社



前田 直樹

代表取締役/SCPA シニアヴァイスプレジデント

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社



金留 正人

プロジェクトリーダー

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社



寺田 和正

アセッサー

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

About DNV

Driven by our purpose of safeguarding life, property and the environment, DNV enables organisations to advance the safety and sustainability of their business. Combining leading technical and operational expertise, risk methodology and in-depth industry knowledge, we empower our customers' decisions and actions with trust and confidence. We continuously invest in research and collaborative innovation to provide customers and society with operational and technological foresight. With our origins stretching back to 1864, our reach today is global. Operating in more than 100 countries, our 16,000 professionals are dedicated to helping customers make the world safer, smarter and greener.

Disclaimer

Responsibilities of the Management of the Issuer and the Second-Party Opinion Providers, DNV : The management of Issuer has provided the information and data used by DNV during the delivery of this review. Our statement represents an independent opinion and is intended to inform the Issuer management and other interested stakeholders in the Bond as to whether the established criteria have been met, based on the information provided to us. In our work we have relied on the information and the facts presented to us by the Issuer. DNV is not responsible for any aspect of the nominated assets referred to in this opinion and cannot be held liable if estimates, findings, opinions, or conclusions are incorrect. Thus, DNV shall not be held liable if any of the information or data provided by the Issuer's management and used as a basis for this assessment were not correct or complete.

スケジュール-1 対象プロジェクト概要

表中のプロジェクトは、グリーンボンド債券発行後、既に充当されたプロジェクトです。

環境プロジェクト分類	グリーンプロジェクト	適格プロジェクト	環境改善効果	充当額*
<ul style="list-style-type: none"> 汚染防止と管理 環境配慮製品、環境に配慮した製造技術・プロセス 	再生 PET 樹脂の調達・設備投資	再生 PET 樹脂の調達	リサイクル PET 樹脂比率：28%(2023 年度)	2020-2022 年度：49 億円 2023 年度：46 億円 合計充当額：95 億円 (リファイナンス割合 21.9%)
	<ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー 	工場におけるヒートポンプの導入	工場におけるヒートポンプの導入	ヒートポンプシステム導入による GHG 削減量：4,185t-CO ₂ (2023 年度)
		福岡工場(2019 年 2 月設備導入) 岡山工場(2019 年 12 月及び 2022 年 3 月設備導入) 取手工場(2020 年 1 月設備導入) 滋賀工場(2020 年 1 月設備導入) 名古屋工場(2020 年 2 月設備導入)	合計	2020-2022 年度：54 億円 2023 年度：46 億円 合計充当額：100 億円 (未充当金額：0 円)

*2024 年 5 月時点



スケジュール-2 グリーンボンド適格性評価手順

下記のチェックリスト(GBP-1 ~ GBP-4)は、グリーンボンド原則 2018 を基に、キリンホールディングス フレームワーク適格性評価用に作成された DNV 手順です。評価作業における「確認した文書」は、発行体の内部文書等が含まれ発行体から DNV に対して適格性判断の証拠として提供されています。表中に記載のキリンホールディングス株式会社グリーンボンドフレームワーク及び法定関連書類(発行登録追補書類)、2020 年度及び 2022 年度実績に関する定期レポートは投資家向け説明資料として別途公開されています。

GBP-1 調達資金の用途

Ref.	規準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV 観察結果
1a	グリーンボンドの種類	グリーンボンドの種類は GBP で定義される以下の種類のいずれかに分類される。 ・(標準的)グリーンボンド ・グリーンレバニューボンド ・グリーンプロジェクトボンド ・その他	確認した文書類： ●キリンホールディングス株式会社グリーンボンドフレームワーク(以下フレームワーク) ●発行登録追補書類 関係者へのインタビュー	評価作業を通じキリンホールディングスのグリーンボンドは以下のカテゴリに分類されることを確認した。 (標準的)グリーンボンド
1b	グリーンプロジェクト分類	グリーンボンドにおいて肝要なのは、その調達資金がグリーンプロジェクトのために使われることであり、そのこととは、証券に係る法的書類に適切に記載されるべきである。	確認した文書類： ●フレームワーク ●発行登録追補書類 ●資金充当実績関連資料 ●プロジェクト関連資料 関係者へのインタビュー	調達資金は、以下のプロジェクトに充当されたことを確認した。 <省エネルギーに関する事業> -工場におけるヒートポンプシステムの導入(5 工場) <汚染防止と管理に関する事業及び環境配慮製品、環境に配慮した製造技術・プロセスに関する事業> -再生 PET 樹脂の調達・設備投資
1c	環境面での便益	調達資金使途先となる全てのグリーンプロジェクトは、明確な環境面での便益を有すべきであり、その効果は発行体によって評価され、可能な場合は、定量的に示されるべきである。	確認した文書類： ●フレームワーク ●プロジェクト関連資料 ●環境改善効果実績資料 関係者へのインタビュー	DNV は、グリーンプロジェクトが、発行体によって客観的な環境課題であり、プロジェクト実行による環境改善効果が明確にされていることを確認した。 具体的には、各グリーンプロジェクトはそれぞれ、工場におけるヒートポンプシステムの導入は省エネルギーに、再生 PET 樹脂の調達・設備投資は汚染防止と管理及び環境配慮製品、環境に配慮した製造技術・プロセスに資する環境面での便益を有していることを確認した。その効果は、それぞれ GHG 削減量、リサイクル樹脂の使用比率で定量的に評価されていることを確認した。

Ref.	規 準	要 求 事 項	評 価 作 業 (確 認 し た 項 目)	DNV 観 察 結 果
1d	リアファイナンスの割合	調達資金の全部あるいは一部がリアファイナンスのために使われる場合、又はその可能性がある場合、発行体は、初期投資に使う分とリアファイナンスに使う分の推定比率を示し、また、必要に応じて、どの投資又はプロジェクトポートフォリオがリアファイナンスの対象になるかを明らかにすることが推奨される。	確認した文書類： <ul style="list-style-type: none"> ● フレームワーク ● 発行登録追補書類 ● 資金充当実績関連資料 関係者へのインタビュー	2023年12月末において、以下の通り、調達資金(100億円)全額が充当済みであることを確認した。 再生PET樹脂の調達：95億円(リアファイナンス割合 21.9%) 工場におけるヒートポンプ導入：5億円(リアファイナンス割合 41.7%)

GBP-2 プロジェクト選定及び評価のプロセス

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
2a	プロジェクト選定のプロセス	<p>グリーンボンドの発行体はグリーンボンド調達資金の用途となるプロジェクトの適格性を判断したプロセス概要を示すべきである。これは以下を含む(これに限られるものではない)</p> <ul style="list-style-type: none"> 発行体が、対象となるプロジェクトがグリーンボンド原則の適格なグリーンプロジェクトの事業区分に含まれると判断するプロセス グリーンボンド調達資金の用途となるプロジェクトの適格性についての基準作成 環境面での持続可能性に係る目標 	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> フレームワーク グリーンボンド定期レビュー資料 プロジェクト選定記録 <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>キリンホールディングスが、経理部及び CSV 戦略部がフレームワークで定めた適格クライテリアを満たすプロジェクト(適格プロジェクト)として選定し、財務戦略担当執行役員が選定された適格プロジェクトの最終決定を行ったことを確認した。</p> <p>また、キリンホールディングスが、当該プロジェクトの選定に当たり「適用又は参照される基準」に示す適格クライテリアに合致すると共に、プロジェクトの実行に伴うネガティブな影響を評価、検討し、環境・社会的リスクを事前に確認していることを確認した。</p>
2b	発行体の環境及び社会的ガバナンスに関するフレームワーク	<p>グリーンボンドプロセスに関して発行体により公表される情報には、基準、認証に加え、グリーンボンド投資家は発行体のフレームワークや環境に関連する持続性に関するパフォーマンスの品質についても考慮している。</p>	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> フレームワーク グリーンボンド定期レビュー資料 <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>キリンホールディングスのグリーンボンドプロジェクトは、キリンホールディングスの「CSVパーパス」や「長期経営構想 キリングループ・ビジョン2027(KV2027)」と一致しており、プロジェクトの実行に際しては、環境関連法令、条例、諸規則及び当該地域との協定の遵守、周辺環境への配慮などが考慮されていることを確認した。また、グリーンプロジェクトによる環境改善効果が明確になっていることを、フレームワーク等の文書確認や関係者へのインタビューを通じて確認した。</p>

GBP-3 調達資金の管理

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
3a	調達資金の追跡管理-1	グリーンボンドによって調達される資金に係る手取金は、サブアカウントで管理され、サブ・ポートフォリオに組み入れ、又はその他の適切な方法により追跡されるべきである。また、グリーンプロジェクトに係る発行体の投融資業務に関連する正式な内部プロセスの中で、発行体によって証明されるべきである。	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイムワーク ・グリーンボンド定期レビュー資料 <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>DNVは文書レビューとインタビューにより資金管理で要求される以下の内容を確認した。</p> <p>調達資金の全てはキリンホールディングスの口座に入金、グループ会社、現地法人を通じてスケジュール-1で示された当該プロジェクトへ充当された。また、グリーンボンドにより調達された資金は、充当先及び金額を内部管理システムにて管理されていることを確認した。</p>
3b	調達資金の追跡管理-2	グリーンボンドが償還されるまでの間、追跡されている調達資金の残高は、一定期間ごとに、当該期間中に実施された適格プロジェクトへの充当額と一致するよう、調整されるべきである。	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイムワーク ・グリーンボンド定期レビュー資料 <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>DNVは文書レビューとインタビューにより資金管理で要求される以下の内容を確認した。</p> <p>グリーンボンドによる調達資金の追跡管理(入出金と残高確認)はキリンホールディングス経理部が毎月実施し、内部管理システム及び社内規程で管理されていた。</p>
3c	一時的な運用方法	適格性のあるグリーンプロジェクトへの投資または支払いが未実施の場合は、発行体は、未充当資金の残高についても、想定される一時的な運用方法を投資家に知らせるべきである。	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイムワーク ・グリーンボンド定期レビュー資料 <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>DNVは文書レビューとインタビューにより資金管理で要求される以下の内容を確認した。</p> <p>調達資金は実際の充当時期までの間、現金及び現金同等物にて管理され、2023年度末時点で全額充当済みである。</p>

GBP-4 レポートディング

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
4a	定期レポートの実施	調達資金の用途及び未充当資金の一時的な投資のレポートに加え、発行体はグリーンボンドで調達した資金が充当されているプロジェクトについて、少なくとも年に1回、以下を含む各プロジェクトのリストを提示すべきである。 -守秘義務契約や競争上の配慮 -各プロジェクトの概要、期待される持続可能な環境改善効果	確認した文書類： <ul style="list-style-type: none"> • フレームワーク • グリーンボンド定期レビュー資料 関係者へのインタビュー	<p>キリンホールディングスはグリーンボンドで要求される特定の項目についてキリンホールディングスのウェブサイトにて情報開示(資金充当レポート・インパクトレポート)を行う予定であることを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 充当対象となる適格クライテリア及び充当金額：再生 PET 樹脂の調達(2020-2022 年度：49 億円、2023 年度：46 億円、合計充当額：95 億円)、工場へのヒートポンプの導入(5 工場)(2020-2022 年度：5 億円、2023 年度：該当なし、合計充当額：5 億円) • 未充当金の残高及び運用方法：全額充当済み • 調達資金のうちリファイナンスに充当された金額：再生 PET 樹脂の調達(21 億円)、工場へのヒートポンプの導入(2 億円) • リサイクル PET 樹脂比率：28% • ヒートポンプシステム導入による GHG 削減量：4,185t-CO₂(2023 年度)